

2017年9月13日

既存ネットワークと新規ネットワークの共存環境を実現した  
「RTX810」の後継モデル

## ヤマハ ギガアクセス VPN ルーター 『RTX830』

— 2017年10月発売予定 —

ヤマハ株式会社は、ルーターシリーズ製品の最新ラインナップとして、従来モデル「RTX810」との互換性を維持しつつ、大幅な性能向上と、クラウドサービス等の新規ネットワークへの接続性を充実させた最新モデル『RTX830』を発売いたします。

### <価格と発売時期>

#### ■本体

品名	品番	本体価格	発売時期
ギガアクセス VPN ルーター	RTX830	75,000 円(税抜)	10 月

◎販売計画:60,000 台/年

#### ■関連オプション

品名	品番	本体価格	発売時期
ラックマウントキット	YMO-RACK1U	18,000 円(税抜)	発売中
ウォールマウントキット	YWK-1200D	18,000 円(税抜)	発売中
RJ-45 コンソールケーブル	YRC-RJ45C	4,800 円(税抜)	発売中



## ＜製品の概要＞

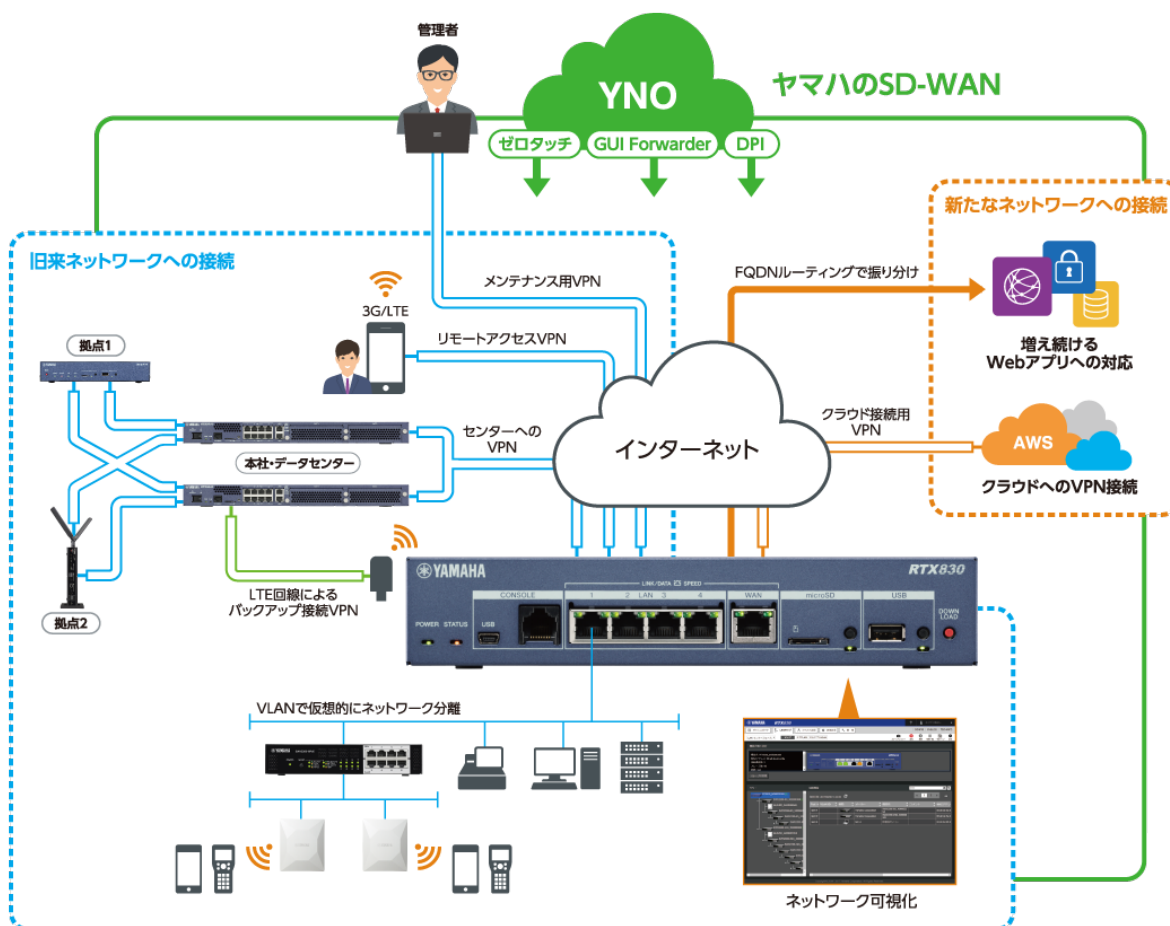
今回発売する『RTX830』は、「RTX810」の後継モデルです。従来モデル「RTX810」で構成されていた既存ネットワークをそのまま利用することも想定し、筐体サイズや設定ファイルなどの互換性を確保しています。また、クラウドサービスなど新規のネットワークへの接続拡張にも対応し、性能向上や各種の機能をアップデートしています。『RTX830』により、新たにネットワークを構築することはもちろん、新旧ネットワークの共存環境を実現することも可能です。

また、当社の提供するクラウド型のネットワーク統合管理サービス「YNO(Yamaha Network Organizer)」との連携強化により、ネットワークの一元管理や拠点端末の設置作業を効率化するゼロタッチコンフィグレーション機能などを実現し、頻繁に変更を必要とする現代のネットワーク環境の管理を強力にサポートします。

『RTX830』は、日々増加するクラウドや Web アプリケーションの業務利用により、設置後も変化を求められるネットワーク利用の現状を考慮し、運用面の利便性を向上するさまざまなアップデートを実現しています。

マルチポイントトンネル機能や最新の LAN マップ機能採用により、機器単体での利便性も大きく向上し、また、YNO との連携による一元管理機能を強化により、多拠点展開のネットワーク利用状況の変化に対しても、柔軟に対応します。当社は今後も、YNO でのサービス向上により、固定的なネットワーク利用から”動くネットワーク”に対応するヤマハの SD-WAN”を実現していきます。

従来モデル「RTX810」に比べ、大きく機能向上をしている『RTX830』ですが、筐体サイズや設定に関する互換性を確保することで、既存ネットワークでの置き換えに際してもスムーズに対応できるのに加え、小型・低消費電力設計を維持していることも、大きな特長です。

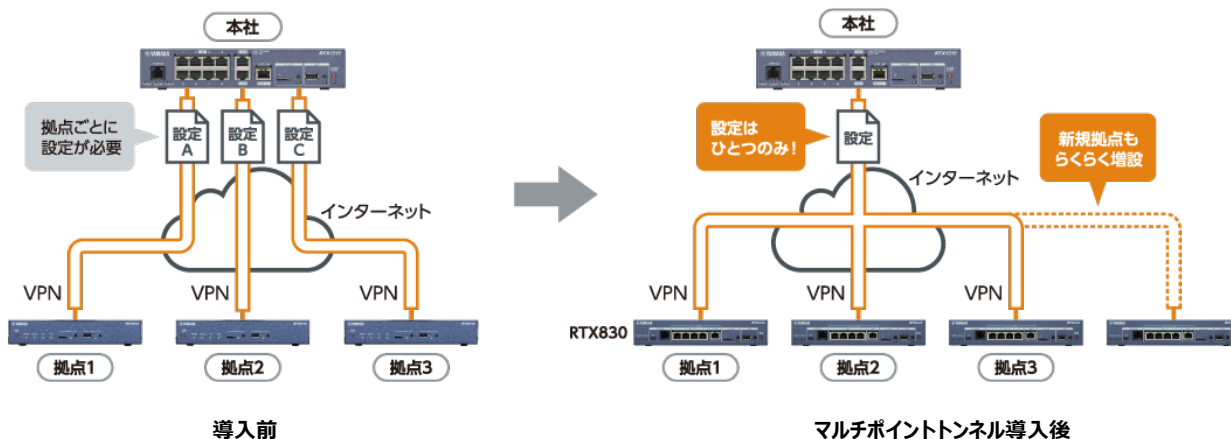


## <主な特長>

### 1. ネットワーク構築に更なる利便性

『RTX830』では、以下の機能実装により、旧来からの拠点間通信や LAN 管理の利便性をさらに向上させています。

#### ・マルチポイントトンネル機能



マルチポイントトンネル機能は、物理的な複数拠点への VPN (Virtual Private Network) 接続を、ひとつの VPN 設定のみで実現する機能です。『RTX830』ではこのマルチポイントトンネルの拠点側機能に対応しています。これにより、拠点の増設・移設など VPN 環境に変化があった場合の設定変更作業の手間を軽減できます。

※マルチポイントトンネルのセンター側機能は「RTX1210」で対応しており、今後「RTX3500」「RTX5000」でも対応予定です。

#### ・最新の LAN マップ機能

『RTX830』では、上位モデル「RTX1210」で好評をいただいている「LAN マップ」機能を採用しています。LAN の状態を可視化し、制御する GUI 機能によって、ネットワークの接続状態を一目で把握できるため、迅速なトラブルの発見・解決が可能です。



ネットワークの状態を一目で把握できる「LAN マップ」機能

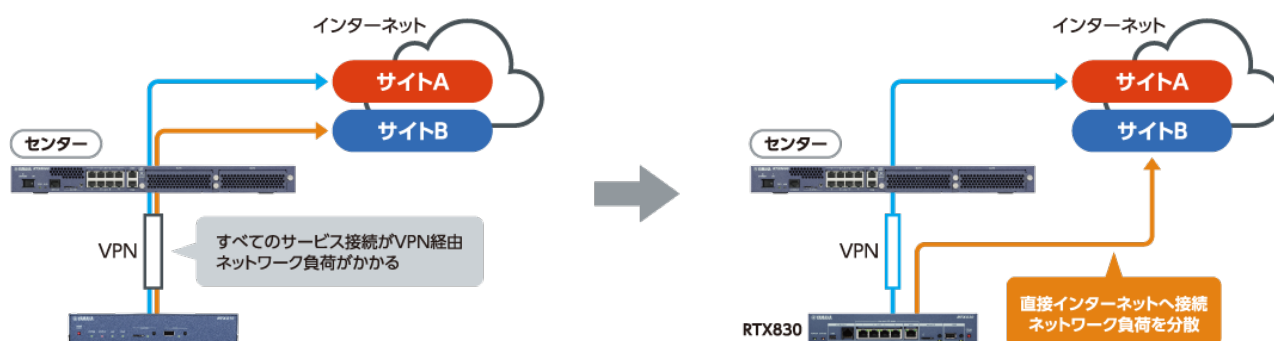
### ・ USB シリアルによるコンソール接続

旧来のシリアルポートに加え、USBmini 型のシリアル接続が可能です。PC への接続に際し、別途 USB シリアル変換ケーブルを用意する必要はありません。



### ・ FQDN filter (FQDN ルーティング)

宛先の FQDN (Fully Qualified Domain Name) により、経路制御を行うことができるようになりました。インターネット上に展開される各種 Web サイトごとに、宛先経路を振り分けることが可能です。

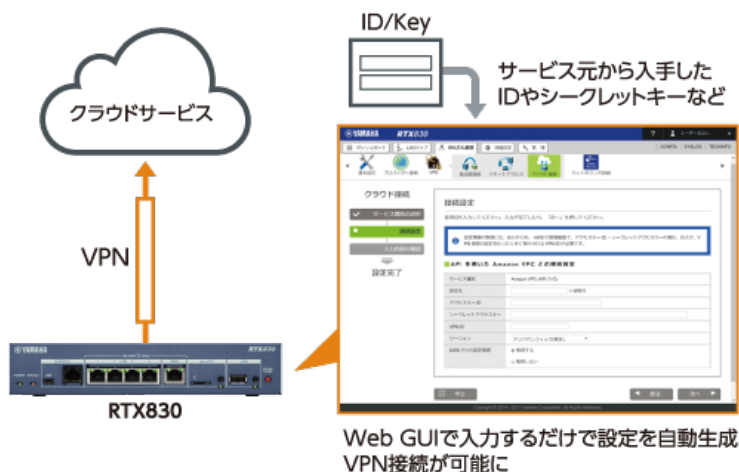


本機能により、拠点ネットワークからインターネットへの接続時、サイトAへの接続はセンター拠点経由、サイトBへの接続は直接インターネットへオフロードするなど、FQDN ごとに宛先経路を振り分けるなどの運用が可能となります。

※ファームウェアアップデートにより対応予定です。

### ・ クラウド接続のかんたん設定

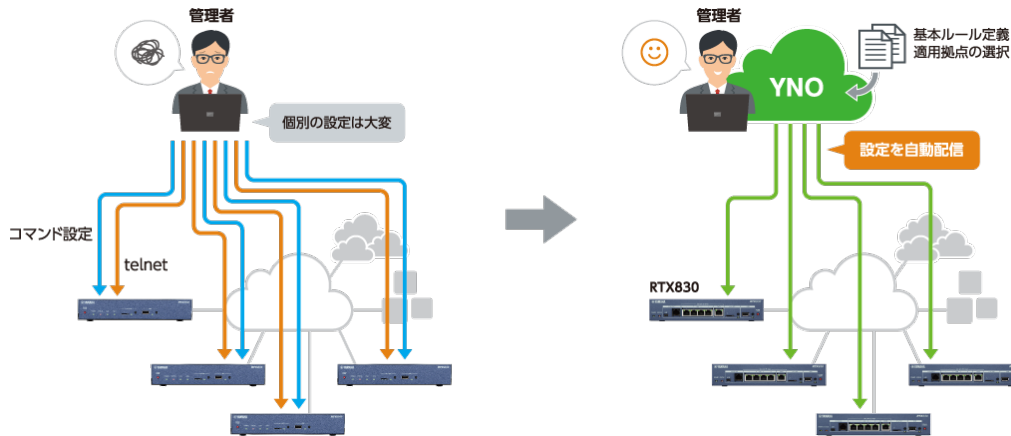
クラウドサービスへの VPN 接続利用を、さらに効率良く実現する機能です。サービス元から入手した ID やシークレットキーの入力さえ行えば、IPsecVPN・BGP 経路設定等の設定が自動生成され、ルーターに反映されます。本機能により、クラウドサービスへの接続設定にかかる手間が大幅に軽減されます。



※現時点では、アマゾン VPC への接続機能に対応しており、順次接続サービスを拡充していきます。

## 2. YNO (Yamaha Network Organizer) との連携によるヤマハ SD-WAN

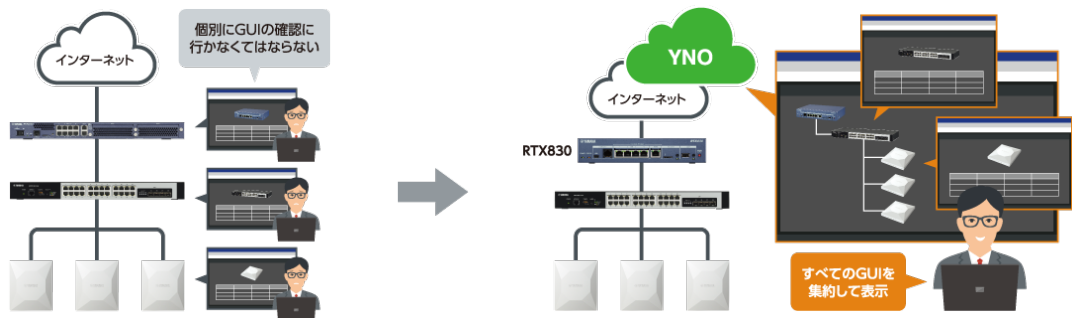
独自のクラウド型ネットワーク統合管理サービス「YNO」との連携により、ネットワークの設置・変更の際に、個々の『RTX830』へログインする必要はなくなります。YNOにログインすれば、すべてのネットワークを一元的に管理することができます。また、クラウドサービスやインターネット上の Web サービスの業務利用の増加に伴い、運用中にネットワーク設定の変更が必要になった場合でも、柔軟な対応が可能です。YNO との連携で、このように”動くネットワーク”の管理をサポートします。



YNO との連携機能では、今後以下のようなサービスを追加する予定です。

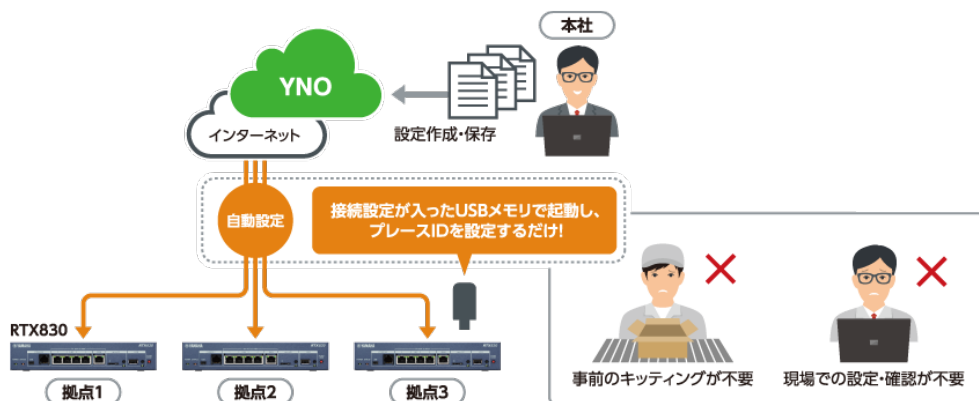
### ・ GUI Forwarder

個々の拠点端末へ個別にログインすることなく、YNO の画面上ですべてのネットワーク機器の GUI 画面操作が可能です。



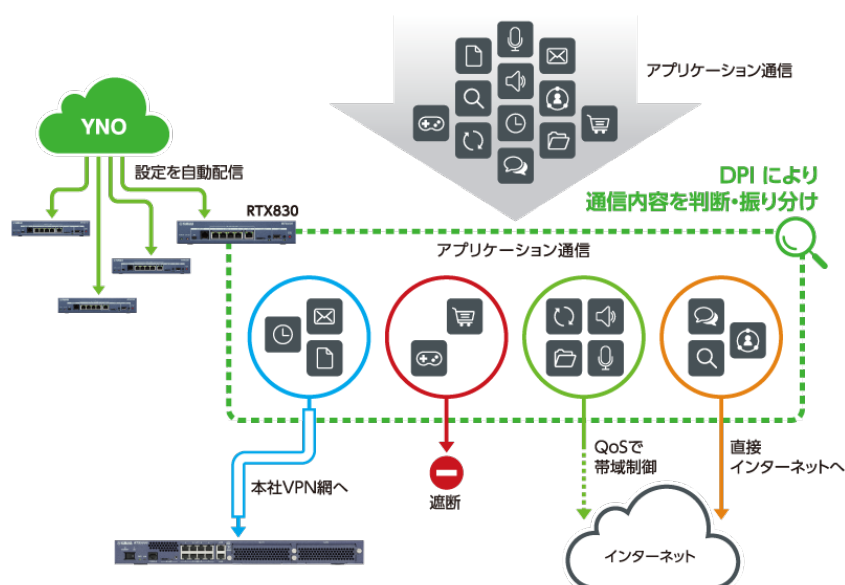
### ・ゼロタッチコンフィグレーション機能

今後、設置する拠点端末の設定を、事前に YNO へ保存しておくことができるようになります。拠点端末の設置作業は、インターネットへの接続設定とプレース ID の入力だけとなり、スピーディーな拠点展開が可能です。



## ・ DPI 機能と YNO 連携

『RTX830』では、今後、DPI 機能の実装を計画しています。アプリケーション単位での細かな設定を多拠点展開でご利用いただくため、合わせて YNO を利用した一元管理環境を提供する予定です。



## 3. 従来モデルからの性能向上と互換性確保

### ・ 性能面の向上

『RTX830』では、従来モデル「RTX810」に比べ、以下の点で性能向上をしています。

	RTX810	RTX830
スループット	1Gbit/s	2Gbit/s
VPN 対地数	6	20
VPN スループット	200Mbit/s	1Gbit/s
NAT セッション数	10,000	65,534
最大消費電力	11W	11W

VPN 対地数性能を向上したことで、これまで構成されていた拠点間 VPN に加え、クラウドサービスへの VPN 接続や、外出先からのリモートアクセス VPN など、幅広く VPN 構成を拡張することが可能になります。また昨今、インターネットへのアクセス増により、従来モデルの NAT セッション数では性能不足となる場合が増えていますが、NAT セッション数の向上により、外部サービスの利用にストレスの無い運用が可能です。『RTX830』では、これら性能面の向上を実現しながらも、全体の低消費電力化を図り、最大消費電力は「RTX810」と同等数値を実現していることも、大きな特徴です。また、『RTX830』では、従来モデル「RTX810」と以下の点で互換性を確保しています。

	RTX810	RTX830
外形寸法	42.6 x 220 x 160	43.5 x 220 x 160
LAN/WAN	4port/1port	4port/1port
設定ファイル	互換	

筐体サイズや接続ポートの互換性に加え、「RTX810」で利用していた設定を、『RTX830』でもそのまま利用することが可能です。機器入れ替え時も、設置場所の変更や設定の再作成などの手間は不要です。



## <主な仕様>

品番	RTX830
希望小売価格(税抜)	75,000 円
JAN コード	4957812618335
LAN ポート	4 ポート L2 スイッチ (10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T、ストレート/クロス自動判別)
WAN ポート	1 ポート (10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T、ストレート/クロス自動判別)
microSD スロット	1 スロット (SDHC 対応)
USB ポート	1 ポート (USB2.0 Type-A、給電電流：最大 500mA、USB メモリ/USB データ通信端末に対応 <sup>※1)</sup> )
コンソールポート	1 ポート (RJ45) <sup>※2)</sup> 、1 ポート (mini USB)
Flash ROM	32MB (ファームウェア：1 組、コンフィグ：5 組/履歴機能あり)
RAM	256MB
内蔵 L2 スイッチ機能	ポート分離、LAN 分割 (ポートベース VLAN)、ポートミラーリング
タグ VLAN (IEEE802.1Q)	LAN ごとに 32ID
対応回線及びサービス網 <sup>※3)</sup>	FTTH、ADSL、CATV、ATM 回線、IP-VPN 網、広域イーサネット網、携帯電話網、フレッツ・サービス、IPv6 PPPoE/IPoE (フレッツ光ネクスト回線)、データコネク
IP ルーティングプロトコル	RIP、RIP2、OSPF、BGP4 (EBGP、IBGP)
IPv6 ルーティングプロトコル	RIPng、OSPFv3
スループット	最大 2.0Gbit/s <sup>※4)</sup>
IPsec スループット	最大 1Gbit/s <sup>※5)</sup>
VPN 対地数	20
VPN 機能	IPsec (VPN 機能：NAT トラバース、XAUTH) + AES128/256、3DES、DES (暗号機能：ハードウェア処理) +IKE/IKEv2 (メインモード、アグレッシブモード)、PPTP (VPN 機能) + RC4 (暗号機能) <sup>※6)</sup> 、L2TP/IPsec、L2TPv3、L2TPv3/IPsec、IPIP トンネル
NAT セッション数	65,534
動的フィルター・セッション数	65,534
QoS 機能	優先制御、帯域制御 (Dynamic Traffic Control)、Dynamic Class Control、VPN QoS <sup>※7)</sup> 、 帯域検出機能、負荷通知機能、ToS→CoS 変換
バックアップ機能	VRRP、フローティングスタティック、ネットワーク/Tunnel バックアップ機能により VPN/イーサネット・無線 WAN にバックアップ、バックアップメール通知
IP keepalive 対地数	100 <sup>※8)</sup>
LAN 管理	L2MS マスター <sup>※9)</sup> 、L2MS スレーブ <sup>※9)</sup> 、VLAN 一括設定、スナップショット機能、LAN ケーブル二重化
状態表示ランプ	前面：14 (POWER、STATUS、LAN [LINK、SPEED] ×4、WAN [LINK、SPEED]、SD、USB) 背面：0 (-)
動作環境条件	周囲温度 0～50℃、周囲湿度 15～80% (結露しないこと)
電源	AC100V～AC240V (50Hz/60Hz)、電源内蔵、電源インレット (2 極コネクタ、C8 タイプ)
最大消費電力 (皮相電力)、 最大消費電流、発熱量	11W (23VA)、0.23A、39.6KJ/h
省エネ機能	EEE (Energy Efficient Ethernet)、未使用の LAN ポートのシャットダウン、microSD スロット/USB ポート停止
筐体	金属筐体、ファンレス
電波障害規格、環境負荷物質管理	VCCI クラス A、RoHS 対応
外形寸法	220 (W) × 43.5 (H) × 160.5 (D) mm (ケーブル、端子類は含まず)
質量	1.1kg (付属品は含まず)
付属品	冊子 (取扱説明書 [保証書含む])、電源コード、電源コード抜け防止金具

- ※1: 全ての USB メモリの動作を保証するものではありません。USB ハブは利用できません。  
最新の対応 USB 接続型データ通信端末は技術情報(RTpro)サイト (<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/>) にて公開します。
- ※2: 別売りの RJ-45 コンソールケーブル「YRC-RJ45C」をご使用ください。
- ※3: ADSL、CATV、FTTH（光ファイバー）等の回線との接続には、  
別途 ADSL モデム、ケーブルモデムまたはメディアコンバーターが必要です。  
ATM 回線との接続には、ATM-TA が別途必要です。  
また、複数のパソコンでの使用を認めていないプロバイダーもありますので、契約内容をご確認ください。
- ※4: スループット値は、RFC2544 に準じた測定値（NAT なし、フィルターなし、双方向）です。
- ※5: AES+SHA1 利用時の出荷バージョンでの測定値（双方向）です。
- ※6: 本製品は、RSA Security Inc. の RSA (R) BSAFE (TM) ソフトウェアを搭載しております。  
RC4 および BSAFE は RSA Security Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- ※7: IPsec トンネル内で QoS を適用する機能です。
- ※8: VPN やネットワークバックアップ機能などを併用せず、IP keepalive 機能を監視に利用する場合の対地数です。
- ※9: L2MS (Layer2 Management Service) は、ヤマハネットワーク機器をレイヤー2 レベルで管理する機能です。





## ヤマハ ギガアクセス VPN ルーター『RTX830』

- 仕様および機能の名称は、予告なく変更することがあります。
- 文中の商品名・社名等は、当社や各社の商標または登録商標です。

※RTX830 の画像データは、下記ウェブサイトよりダウンロードできます。

[https://www.yamaha.com/ja/news\\_release/](https://www.yamaha.com/ja/news_release/)

この件に関するお問い合わせ先

### ヤマハ株式会社

#### ■報道関係の方のお問い合わせ先

広報部 ブランド・商品広報グループ

佐藤、窪井、千葉

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-6605

FAX 03-5488-5063

ウェブサイト [https://www.yamaha.com/ja/news\\_release/](https://www.yamaha.com/ja/news_release/)  
(取材申し込みや広報資料請求が可能です。)

#### ■一般の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 ヤマハルーターお客様ご相談センター

TEL 03-5651-1330

ホームページ URL

<http://jp.yamaha.com/products/network/>